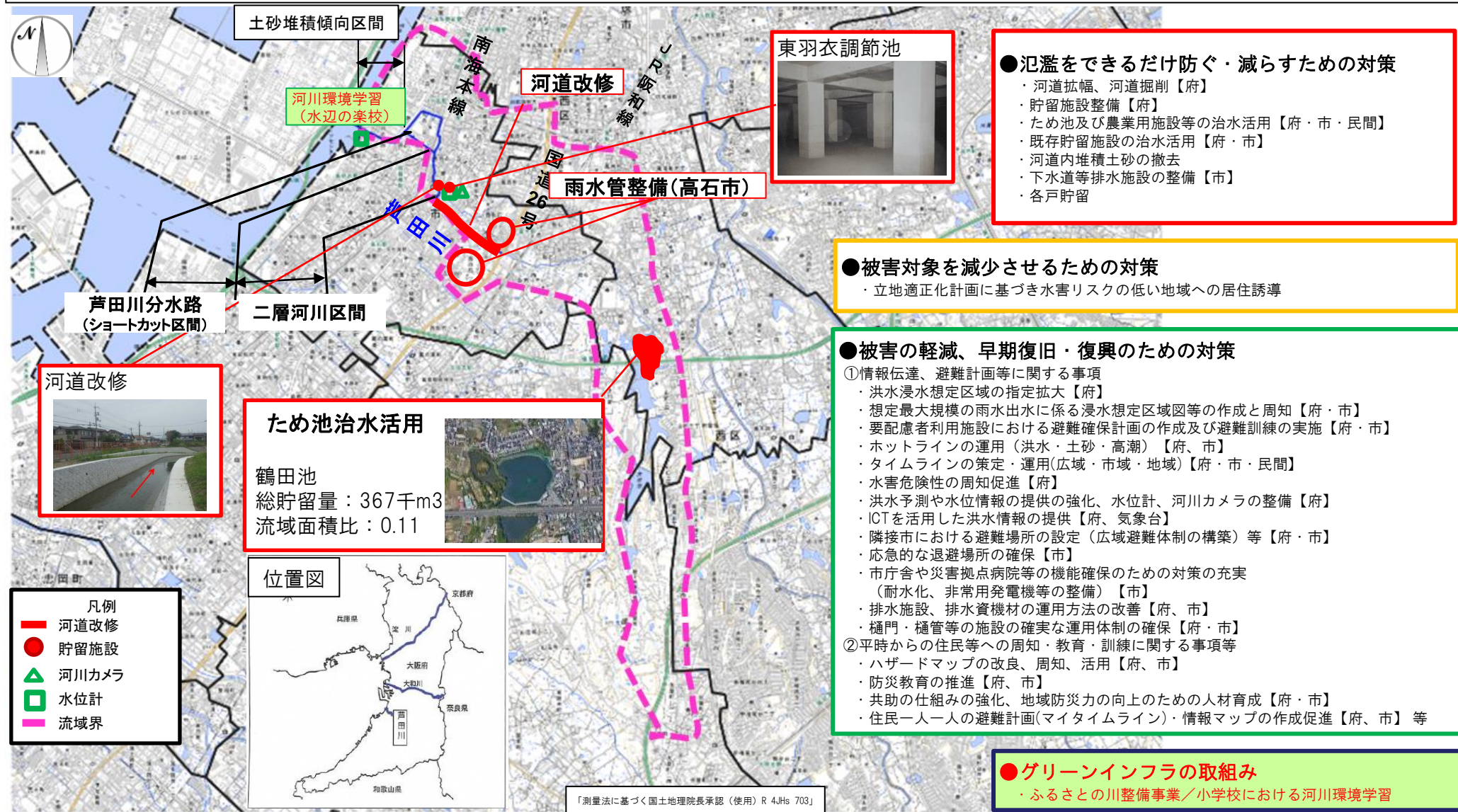


○ショートカット区間上流端から二層河川区間上流端までの区間は下層のボックスカルバートと上層の河川整備を行うことにより時間雨量80ミリ程度の降雨を安全に流下することが可能。二層河川区間上流端から国道26号までの区間は時間雨量50ミリ程度の降雨による床下浸水と時間雨量80ミリ程度の降雨による床上浸水を防げるよう河道改修を行っている。



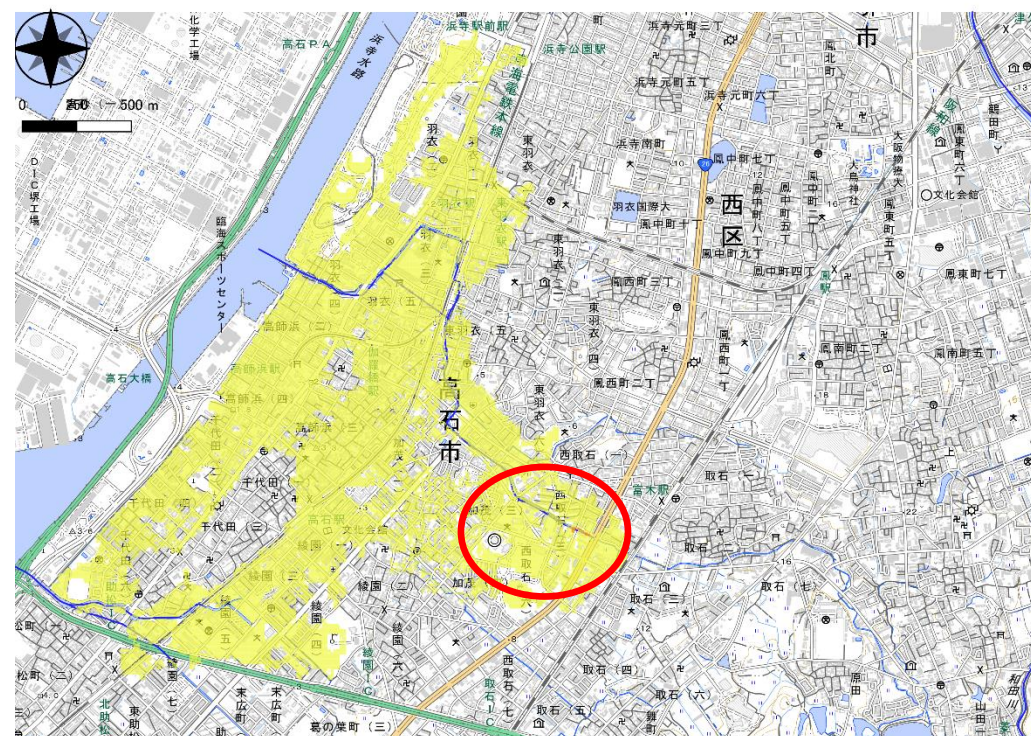
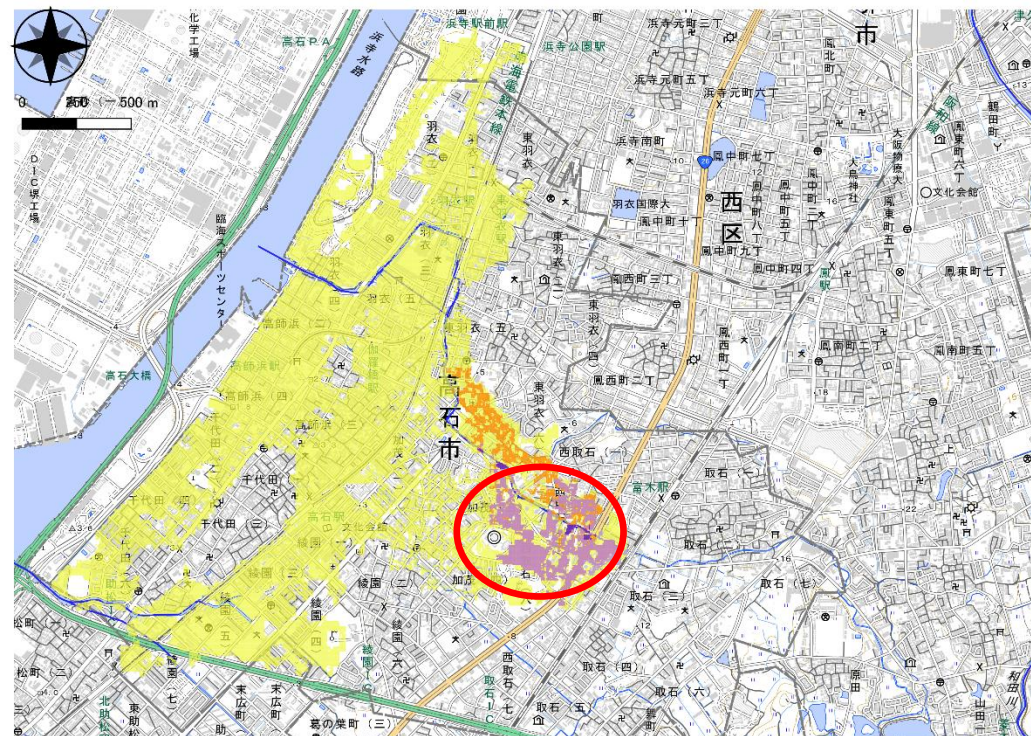
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 芦田川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 住宅密集地の重大災害発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。
 - 【中期】 1/10確率降雨に対して浸水を発生させない、かつ1/100確率降雨に対して床上浸水を発生させない対策を完了。
河道改修およびため池の治水活用の推進。
 - 【中長期】 1/100確率降雨に対して床下浸水を発生させない対策を完了。
調節池整備の推進。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道改修・河道掘削	大阪府			
	貯留施設の整備	大阪府、高石市	新規貯留施設概成		
	ため池の治水活用	大阪府、高石市、民間			
	既存貯留施設の治水活用	大阪府			
	雨水管整備	高石市、堺市			
	河道内の堆積土砂撤去	大阪府	定期点検による継続監視及び状況により適宜実施		
被害対象を減少させるための対策	水害リスクの低い地域への居住誘導(立地適正化計画策定等)	高石市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善等	大阪府、高石市、民間、気象台	洪水浸水想定区域指定拡大完了(R4年度) 雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定等 ③減災・防災に関する国の支援	大阪府、高石市			
グリーンインフラの取組み	ふるさとの川整備事業 河川環境学習(水辺の楽校)	大阪府、高石市			

現状

整備後



河道掘削や新規調節池の整備のほか、既存調節池
やため池の活用を推進により、芦田川：時間雨量
50ミリ程度（1/10）の降雨に対し、家屋床上浸水
が解消する

高頻度（1/10）
中頻度（1/30）
低頻度（1/100）
想定最大規模

当面の治水目標に対応
した河川の整備



10%UP

整備率:57%

(令和6年度末時点)

農地・農業用施設の
活用



3市

(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
2施設

(令和6年度末時点)

立地適正化計画に
おける防災指針の作成



1市

(令和6年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域

2河川

雨水出水
浸水想定区域

0団体

(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画

洪水
土砂
高潮

避難訓練

571施設
13施設
379施設

(令和6年度末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の治水活用

上流部に位置する鶴田池等の
ため池群は、降雨時に雨水を一
時的に貯留する機能を有します。



被害対象を減少させるための対策

高石市の立地適正化計画策 定の取組み

「安全・安心な都市の形成
に向けた防災まちづくり」を
掲げ、中長期的な居住者の安全
を確保し、ハード・ソフト
両面の取組により、子どもか
ら高齢者まで誰もが安心して
暮らせるまちづくりを目指し
ます。また、国土強靱化地域
計画や地域防災計画と連携す
るとともに、避難環境の拡充
や住宅の防災性向上をはじめ
とする効率的・効果的な防
災・減災対策に取り組みます。



被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

「高石市総合防災マップ」・「洪 水ハザードマップ（追補版）」の 作成、全戸配布

高石市では、大阪府が公表した高潮、
洪水（芦田川）の浸水想定区域図、本市
が公表した内水浸水想定区域図をもとに
作成したハザードマップの情報に加え、
災害時に取るべき情報や平時からできる
災害への備えなどの情報を掲載している
「高石市総合防災マップ」を令和3年6
月に作成、全戸配布を実施し、説明会を
開催しました。

また、大阪府が新たに公表した王子川
の浸水想定区域図をもとに「洪水+内水
ハザードマップ（追補版）」を、令和4
年11月に作成し、全戸配布を実施しま
した。一人一人が災害時に適切な避難行
動をとれるよう今後も引き続き周知、啓
発を図ります。



グリーンインフラの取組み

ふるさとの川整備事業／河川 環境学習の実施

治水事業として2層河川を整備、
上面整備では市民の意見を取り入
れた桜並木や広場を整備し親しま
れる水辺空間を創造。

その水辺空間を利用し、生物観
察や水質調査を子供たちとともに
行い、地元の川についての理解を
深めてもらう水辺の楽校を開催し
ています。

